

ナーシングケアの抑制低減活動の今後

抑制低減活動を通じて分かったこと

2018年の抑制商品発売時からの抑制低減活動を通じて、看護管理者や看護系大学の先生、認知症看護認定看護師さんなどさまざまな知見を得ることができました。この場をお借りして深謝申し上げます。

身体抑制低減に向けて、患者さんと向き合う時間を確保し患者さんのニーズを把握して個別性の看護を実現するために、忙しい看護業務の調整を行う管理者支援、看護師だけではなく多職種への身体抑制に関する認知の必要性、教育、責める文化・風土に対するアクションなど多岐にわたることが分かりました。

医療従事者の皆さまからたくさんの共感と応援をいただき、この活動は社会的意味も大きいと感じております。今後もさらなる抑制低減活動を継続してまいります。



ナーシングケアの抑制低減活動の今後



アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825
www.alcare.co.jp

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863**

土・日・祝日を除く
午前9:00～午後5:00

身体抑制を少しでも減らすために、アルケアが、できること。

患者さんの安全を守るために仕方なく…

本当は患者さんの尊厳を守りたい！

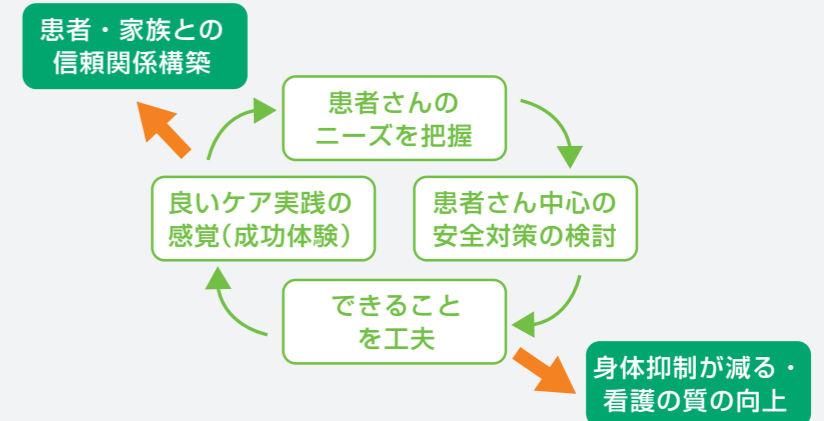
マンパワーが足りない…

看護の現場において、「本当はしたくない」身体抑制。それでも患者さんの安全確保のためには「せざるを得ない」。そんなジレンマを感じている現場の声に。

「患者さん中心の看護」を応援したいアルケアは、身体抑制低減に向けた活動を、看護のチカラでなんとかしたいと考えられている皆さまとともに取り組んでいきたいと考えています。

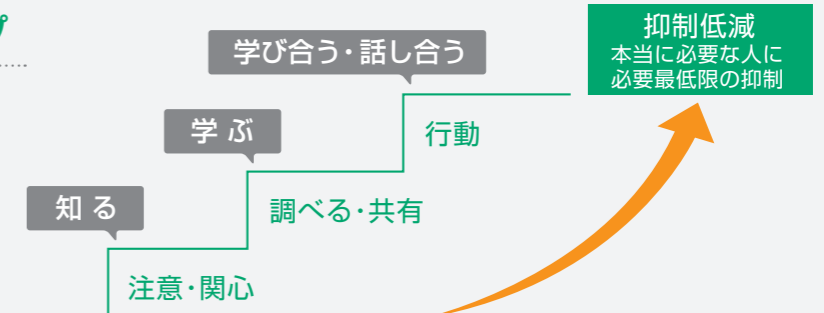
アルケアが目指す世界

患者さんのニーズを把握した、その人本来の姿を第一に考え安全対策を検討し、できることを工夫することで、身体抑制が減っていく。より良いケア実践により、看護師の成功体験となり、さらには患者さん・ご家族との信頼関係の構築につながる。



アルケアの共創ステップ

まずは現状を知ることがすべてのスタートと考え、学びや行動の変化につながるような、企業だからできることを考え、看護職の皆さまと共創していきます。



身体抑制低減に向けたアルケアの取り組み

情報誌

アルメディア

【PICS 集中治療後症候群】2020 Vol.24 No.3

総論 いま最もホットな話題

神戸大学大学院医学研究科外科系講座
災害・救命医学分野先進救命救命医学部門 特命教授
井上 茂亮先生

論文 PICSの3つの症状と予防のための具体的な取り組み

茨城キリスト教大学看護学部看護学科 准教授
櫻本 秀明先生

論文 尊厳あるケアと看護倫理

浜松医科大学医学部看護学科基礎看護学講座 教授
片山 はるみ先生

アルメディア

【せん妄の理解と全身管理】2016 Vol.20 No.3

巻頭論文 せん妄の理解：分類・原因・病態

自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座
(集中治療医学部門) 教授
布宮 伸先生

論文 せん妄の診断と治療・ケア：せん妄への対応がうまくいかないのはなぜか

自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座(集中治療医学部門) 教授
布宮 伸先生

<https://www.alcare.co.jp/medical/member/almedia>



勉強会

【テーマ】身体拘束に関わる看護倫理

【講師】片山 はるみ先生 浜松医科大学医学部看護学科基礎看護学講座 教授

【内容】法と倫理、倫理的ジレンマ、生命倫理・医療倫理、拘束の問題点と悪循環、せん妄、拘束をしなくて済むケアの3原則

【企画意図】身体抑制にはどのような倫理的問題があるのかを学ぶことにより、看護師さんのジレンマの解決にも繋がるのではないかと考え、急性期病院での身体拘束低減の取り組みと成果について研究発表されている片山はるみ先生の勉強会を企画しました。

<https://www.alcare.co.jp/medical/studygroup/kangorinri/>



セミナー

第24回日本看護管理学会ランチョンセミナー 4 2020年8月27日web開催

【テーマ】超急性期医療における身体拘束。なぜ身体拘束をやめられないのか？

【講師】卯野木 健先生 札幌市立大学 看護学部 成人看護学領域(急性期)・教授

【座長】小藤 幹恵先生 公益社団法人石川県看護協会・会長

【内容】超急性期における身体拘束に対して看護実践と研究の両面からアプローチしている卯野木先生がこれまでの認識を見直す必要と今後取り組んでいくべき看護・医療の在り方について豊富なデータに基づき講演

【企画意図】身体抑制の低減を医療者と一緒に考え取り組むために、まずは身体抑制について考えること、目を向けることから始まるのではないかと企画しました。

<https://www.alcare.co.jp/medical/product/nursing/yokusei/clearmittens-tsutsumi.html>



第25回日本看護管理学会ランチョンセミナー 1 2021年8月28日

【テーマ】学び合い、育ちあう、チームのつくり方～話しやすさを生む場づくり

【講師】浦山 絵里先生 講師)ひとづくり工房esuco(泉すこ)代表 看護師 ナースファシリテーター

【座長】小藤 幹恵先生 公益社団法人石川県看護協会・会長

【内容】抑制低減といったテーマで全員参加で何かに取り組もうとする際、単にリーダーが号令をかけて引っ張っていくのではなく、まず現状やテーマについてともに率直に語り合える場を持つことが必要になります。そのためにはチーム内で話し合う力を育て、「学び合い、育ちあう」チームになることが大きなポイントになります。

【企画意図】この話しやすさを生む場づくりをテーマに、少しでも皆さまのご参考にしていただけるような内容を企画しました。

セミナー

第26回日本看護管理学会ランチョンセミナー 4 2022年8月19日 第2会場(福岡国際会議場)

【テーマ】研修参加者をヒーローにする 3つの方法 -「聴す教育」あなたは実践できていますか？-

【演者】内藤 知佐子先生 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター 助教

【座長】小藤 幹恵先生 公益社団法人石川県看護協会・会長

【内容】人間は、現状を変えることに抵抗を感じるとされています。しかし、ちょっとした仕掛けづくりで無意識に行動変容を促すことが可能となります(ナッジ理論)。講演では、今どき世代の傾向なども踏まえ研修を実践につなぐコツをお教えします。

【企画意図】本セミナーでは、昨年のセミナーアンケートで身体抑制に取り組む方々の「困っている」「なんとかしたい」という回答が最も多かった「教育」にテーマを絞りました。

ワークショップ

ナーシングケアワークショップ ～身体抑制低減に向けて～

【テーマ】学び合い、育ちあう、チームのつくり方

【講師】浦山 絵里先生 ひとづくり工房esuco(泉すこ)代表 看護師 ナースファシリテーター

【会場】オンライン ※希望者前日接続テストあり 【日程】2021年10月9日土曜日 9:30-12:30

【定員】60名 先着順 ※ランチョンセミナー参加者優先

【内容】第25回日本看護管理学会ランチョンセミナーで学んだことを振り返り、これまでの自分たちの状況を共有しあうところから始めました。参加者同士で対話をする場づくりについて学び、体験しました。本ワークショップは2021年10月と2022年5月の2回開催いたしました。参加者の方々や先生と気軽に相談できる場も企画しております。次回9月3日土曜日開催予定です。

ナーシングケアワークショップ

【テーマ】組織づくりに活かせるファシリテーションを学ぶ

【講師】浦山 絵里先生 ひとづくり工房esuco(泉すこ)代表 看護師 ナースファシリテーター

【会場】オンライン 【日程】2022年5月14日土曜日 9:30-12:30

【定員】40名

【内容】現状把握や、現状の理解のために他者と対話をして考えることで対話の価値を体感し、その対話のプロセスの組み立て方を学べるような内容を予定しております。

ワークショップ

ナーシングケアワークショップ

【テーマ】組織づくりに活かせるファシリテーションを学ぶ その2 (仮)

【講師】浦山 絵里先生 ひとづくり工房esuco(泉すこ)代表 看護師 ナースファシリテーター

【会場】オンライン

【日程】① 2022年9月3日土曜日 9:00～17:00

※ 8:30～ 「ファシリテーションとは」のミニミニ講座を開催します!

② 2022年12月10日土曜日 9:00～12:30(仮)

【対象】ファシリテーションに興味がある方・看護管理者 ※2日間とも参加できる方

【定員】50名

【開催形式】zoom

【内容】対話や会議でも使える、場の作り方として重要なOARR*からプログラムデザインをするワークショップを企画しております。対話や会議において参加者を主役にするためにはとても重要な内容になりますので、ファシリテーションに関して悩みを持つご友人や職場のお仲間の方も誘いの上、是非、ご参加をお願いいたします。

※OARR(オール)とはOutcomeゴール、Agendaおおまかな流れ、Role役割、Ruleルールのごことでファシリテーションには重要なポイントです。